

# 小倉薬剤師会 11月学術研修会のご案内

謹啓 時下、先生方におかれましては 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
さてこの度、下記の要領にて小倉薬剤師会学術研修会を開催いたします。  
ご多忙中、誠に恐縮とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席頂きますよう  
お願い申し上げます。

謹白

■事前申し込みの方のみご参加可能ですので、参加ご希望の際は、以下URLより10月28日(月)厳守にてお申込みください。(お申込みは会員に限ります)

■視聴用URLの発行について

開催日前に、以下申込みURLよりご登録いただいたメールアドレスへ、視聴用URLをお知らせします。

※開催日前に視聴用URLが届かない場合は事務局まで(093-941-3518)お問い合わせください。

■単位申請について(PECSに変更)

①ご参加いただいた会員様の単位取得は、以下の申込みURLよりご入力いただいた「薬剤師名簿登録番号」にて申請いたしますのでご入力の際は誤りのないようにご注意ください。※申請後の修正はできかねますのでご了承ください。

②単位取得については入退室が記録されたZoomからの「受講ログ」を研修センターに提出となっております。講演開始時19時前にご入室されたログ記録、および20:30までご聴講いただいたログ記録にて認められます。※ログ記録が1.5時間に満たない場合は単位取得の対象となりません。

記

【日時】 2024年 11月 7日(木) 18:45~20:30

【開催方法】 WEB配信(WEB会議ツールを用いたオンライン研修) 研修会

【情報提供】 18:45~19:00

『ゲーフィス錠』 持田製薬株式会社

【PS】 1. ヒューマニズム(倫理): ①-1~3

2. 医薬品の適正使用(安全性、経済性) ②-96~98、③-21

座長 学術委員 重藤 憲司

【特別講演】 19:00 ~ 20:30

## 『 IBD の診断と治療戦略 』

演者 北九州市立医療センター 副院長 秋穂 裕唯 先生

<講演要旨>

炎症性腸疾患(IBD)の原因は解明されていないが、遺伝的素因に食事、感染、ストレス、腸内細菌叢などの環境因子が加わり、腸管免疫系に異常が生じることで発症すると考えられている。治療はステロイド、5-ASA製剤が主であったが、今世紀に入り抗TNF $\alpha$ 拮抗薬、抗接着因子抗体、抗インターロイキン23拮抗薬、ヤヌスキナーゼ阻害薬など有効性の高い薬物が次々と登場している。IBDの診断と最新の治療に関し概説する。

共催: 小倉薬剤師会  
持田製薬株式会社

11月7日（木）学術研修会申込書

↓以下の研修会申込みURLよりお申込みください↓

申込み締切：10月28日（月）迄

<https://forms.gle/qwEL88wzhijJg8fh7>



■PECS（薬剤師研修・認定システム）への薬剤師登録はお済みですか？■

PECS（薬剤師研修・認定システム）への薬剤師登録が必須となりますので、単位付与を希望される場合は、必ずPECSへの登録完了後に、参加申し込みしてください。

日本薬剤師研修センターHP <https://bitly/3vb8RU9>（薬剤師用入口より）

登録完了していない場合や登録内容に誤りがあった場合は、単位が正しく発行されません。登録番号に「中」や「外」が含まれている場合は、その文字も含めてご入力ください。登録内容に誤りがあった場合の単位付与に関して、本会は責任を負い兼ねますのでご了承ください。

※当講演会で取得したご施設名・ご芳名は、共催製薬会社による医薬品および医学・薬学に関する情報提供、ならびに参加者に関するご確認のために利用させていただくことがございます。また、当時刻情報は、共催製薬会社から小倉薬剤師会に開示させていただきます。